

# 3R瓦版（3月号）

負けるな！  
エコ300くん  
作：フジコイトウ



© 2013 フジコ イトウ All Rights Reserved.

## リユース食器のススメ～祇園祭をごみゼロに！～

<http://www.gion-gomizero.jp/>

### ◆リユース食器とは

お祭りやコンサート、スポーツ観戦といった催しでは、使い捨て容器の利用が主流となり、廃棄物の山や散乱ごみが課題となっています。その廃棄物の組成を調査すると、使い捨て容器を始めとした包装容器が多くをしめていることが分かっています。短い時間に大量にモノが消費され、廃棄されていく現実。その解決に向けて広がりを見せているのがリユース食器。リデュース、リユースのいわゆる2Rの取り組みの一つであるリユース食器は、使い捨て容器に替えて導入する繰り返し洗って再使用（リユース）出来る食器を総称しています。リユース食器を使用することで、使い捨て容器のごみが削減できることはもちろん、繰り返し使用すればするほど二酸化炭素排出量、エネルギー、水などの使用量を削減することにつながります。

### ◆祇園祭でも導入がはじまった！

実はこのリユース食器、京都が全国の中でトップランナーなんです。例えば、京都市が主催するイベントはすべてリユース食器。また、大学の学園祭や商業イベント、保育園の夏祭りや地蔵盆など、導入のシーンは広がっていますが、それでもまだ一部のお祭りやイベントにとどまっています。そこで、より一般化し市民のライフスタイルへの定着を計ろうと、昨年はずいぶん祇園祭の宵山への導入を試みました。このプロジェクト名は「祇園祭ごみゼロ大作戦 2014」。具体的には夜店や屋台の協力のもと、約21万食分の使い捨て食器をリユース食器に切り替える日本初であると同時に、世界初の試みとなりました。この取組を支えたのは、2000人を超えるボランティアのみなさんや寄付者のみなさん、そして地元企業のみなさんによるご協賛やノウハウ提供でした。結果、昨年度に比べ12万人来場者が増えたにも関わらず、焼却ごみを半減することが出来たのです。

京都が誇る日本三大祭のひとつである祇園祭をごみゼロに。伝統や文化を継承すると同時に、ごみの出ない仕組づくりをしっかりと築きあげることは、祇園祭の屋台文化を環境配慮型に変えるだけでなく、全国の祭や市民のライフスタイルを大きく変えるきっかけになります。それは具体的な地球温暖化の防止へとつながるのです。祇園祭ごみゼロ大作戦実行委委員会では、今年取組に向けて現在準備を進めています。みなさんのご協力よろしくお願い致します。

RepairFactory (株)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見220番地

tel : 0774-66-6254

太田航平 (NPO 地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事)